

じょう りゅう じ

常瀧寺

◇丹波の山奥にある小さな寺ですが、
仏様の慈悲に満ち溢れています。



常瀧寺参道

◇常瀧寺の縁起

常瀧寺は養老年間(717~724)に法道仙人が開基されたと伝わる丹波の古刹です。

七堂伽藍を有した寺でしたが、明智光秀の丹波攻めで堂宇は悉く焼失してしまいました。

唯一、公孫樹だけが焼け残り現代に雄姿を見せてくれています。

大公孫樹のある場所から谷を挟んで向かいの山肌に大きな錫杖岩と云う岩が現存し、その付近に愛宕権現と毘沙門堂があったと記録があります。その当時は修験の道場として栄えていたようで、現在は護摩堂にその毘沙門天をお祀りしています。

江戸時代になって、光覚法印が愛宕山麓に再興するも、何度か落雷などで焼け、三回目の移転で現在地に落ち着いています。今の本堂は明治7年に再建されたものです。

中興の祖である光覚法印は、法力に優れておられ、西国巡礼の折に、紀州藩主の側室が病に臥せっておられると聞き、八千枚の護摩を修法して藩主の命に応えたと云われます。その病氣平癒のお礼に側室の念持仏であった大日如来を下賜されました。

それ以来常瀧寺の本尊として大切に祀られています。

常瀧寺の宗旨は高野山真言宗です。



本堂と鐘楼堂

じょうりゅうじ おお いちよう
常瀧寺の大公孫樹



- ◇兵庫県天然記念物指定 ◇幹回り11m
◇法道仙人お手植え ◇推定樹齢1300年
◇雄種で銀杏は生らず、一本の木の枝から
乳のような瘤が垂れて地中に潜り、悠久の時を
経て新たな幹や枝となっています。
全国的に見てもめずらしい公孫樹です。



・常瀧寺の裏山を三十分程登った元の境内地にあります。

◇常瀧寺の参拝所

・水子
霊園



・水子
地藏



※常瀧寺では予約で母体加持を特徴とした水子供養をしています。
詳しくはホームページをご覧ください。

・ぼけ
封じ
観音



・弁才
天



・わら
べ
地藏



- ・ぼけ封じ近畿十楽観音霊場10番札所
- ・近畿楽寿観音霊場14番札所
- ・七福神丹波光霊場弁財天札所

・うな
づき
地藏



本堂前の廊下に祀っている「うなづき地藏」江戸時代からくり人形の職人が作ったもので、お賽銭を入れるとうなづいてくれるのでこの名前がついています。

高さ2mの龍王像。不動明王の智剣に龍が巻き付いたもので、不動明王の化身です。滝場を守護する他、金運上昇にご利益がある八大龍王の一つ



・くりから龍王(俱利伽羅不動)と滝

◇ 四国八十八ヶ所お砂踏み ◇

・ お砂踏み場 (中央に修行大師を祀っています)



・ 納札所(お礼参り用)



江戸時代に遍路に行けない人の為に考案されたのが、このお砂踏みです。四国霊場の各寺院のお砂を採取して、それを踏み締めて歩くことで同じご利益があるとされてきました。

・ 護摩堂



護摩堂内



常瀧寺では毎月28日の月例護摩の他に、個人的に焚く専願護摩を修法しています。(予約制)

・ 納骨永代供養塔



納骨永代供養は随時受付中!

石段と中央に子安・子育て観音堂



◇常瀧寺付近図



◇常瀧寺への
Google地図



あたござん
愛宕山

じょうりゅうじ
常瀧寺

〒669-3822

兵庫県丹波市青垣町大名草481

TEL 0795-87-5145



◇常瀧寺ホームページ



①<http://jyoryuzi.jp>

②<http://jyoryuzi.net>